

横浜保育福祉専門学校 学校関係者評価委員会における指摘事項等

新型コロナウイルス感染症拡大防止措置の一環として、令和2年3月および7月に書面開催を行った。社会福祉法人朝日の里朝日塾、社会福祉法人伸愛会(屏風ヶ浦はるかぜ保育園)、県立保土ヶ谷高等学校、横浜市戸塚区役所、岩崎学園東戸塚保育園、地域住民代表、卒業生代表(保育士)よりそれぞれ1名、合計7名に資料を送付し意見をいただく機会を設けた。

1. 教育活動について

- ・新型コロナウイルスの感染状況が見通せない中、早くからオンライン授業をスタートできたことはすばらしかったと思います。オンデマンドであれば、動画を繰り返し見ることで、技術も身に付くのではないかと思います。
- ・3年間という中で、様々な分野を学び単位を取得することは大変だと思います。選択授業が少ないように思われましたが、専門学校としては仕方ないのでしょうか。

2. 就職について

- ・100%の進路実績、すばらしいと思います。貴校に入学し、94%が子どもに関わる仕事につかれていますよね。3年間の学びの中で、生徒たちの努力もあると思いますが、先生をはじめ、貴校の指導がきちんとなされているのではないのでしょうか。貴校で学んだことを今後も生かして欲しいと思います。

2. その他

- ・貴校の学生さんは、いろいろな活動をなさっていると思います。地域活動にも参加していただいたことで地域に若い世代が参入してくれていることをありがたく思っています。ひきつづき、よろしく願います。
- ・忙しいカリキュラムの中でも、産学官連携プログラムを積極的に導入するなど、人間性や社会性を磨くことに取り組まれているのがよいと思います。
子どもの発達に、保育者の関わりは大切だと思いますので、現場に求められる保育者を養成するためにも、教育理念に沿ったこうした教育活動を大事にいただけたらと思います。

以上